

様式第23号

年 月 日

(あて先) 山形市保健所長

郵便番号

管理者 住 所

氏 名

診療用放射性同位元素等設置届

下記のとおり診療用放射性同位元素（陽電子断層撮影診療用放射性同位元素）を設置するので、医療法第15条第3項の規定により届け出ます。

記

1 名 称	
2 所 在 地	〒 電話
3 予定使用開始時期	年 月 日

4 診療用放射性同位元素等

その年に使用を予定する診療用放射性同位元素等			最 大 貯 蔵 予 定 数 量	最大使用予定数量	
種 類 (核 種)	形 状	数 量		1 日	3 月 間
		ベクレル	ベクレル	ベクレル	ベクレル

5 診療用放射性同位元素使用室

診療室		準備室			画壁の防護 (鉛当量)	出入口の 数	出入口の付近			
室の 構造	面積	室の 構造	面積	洗 浄 設備の 有 無			放射線 測定器 の有無	汚染の 除去に 必要な 器材	洗 浄 設備の 有 無	更 衣 設備の 有 無
	m ²		m ²		mm					
放射性同位元素によつて汚染されるおそれのある部分は、突起物、くぼみ及び仕上材の目地等のすきまの少ないものか。							適 ・ 否			
放射性同位元素によつて汚染されるおそれのある部分の表面は、平滑であり、気体又は液体が浸透しにくく腐食しにくい材料か。							適 ・ 否			
洗浄設備と排水設備の連結							有 ・ 無			
準備室におけるフード、グローブボックス等の装置と排気設備の連結							有 ・ 無			

6 陽電子断層撮影診療用放射性同位元素使用室

診療室		準備室			待機室		画壁の防護 (鉛当量)	出入口の 数	出入口の付近			
室の 構造	面積	室の 構造	面積	洗 浄 設備の 有 無	室の 構造	面積			放射線 測定器 の有無	汚染の 除去に 必要な 器材	洗 浄 設備の 有 無	更 衣 設備の 有 無
	m ²		m ²			m ²	mm					
放射性同位元素によつて汚染されるおそれのある部分は、突起物、くぼみ及び仕上材の目地等のすきまの少ないものか。							適 ・ 否					
放射性同位元素によつて汚染されるおそれのある部分の表面は、平滑であり、気体又は液体が浸透しにくく腐食しにくい材料か。							適 ・ 否					
洗浄設備と排水設備の連結							有 ・ 無					
準備室におけるフード、グローブボックス等の装置と排気設備の連結							有 ・ 無					

7 貯蔵施設及び運搬容器

貯 蔵 施 設	貯蔵施設の構造		貯蔵室・貯蔵箱	
	貯蔵施設の外側における実効線量		ミリシーベルト/週	
	出入口の数			
	扉、ふた等外部に通ずる部分のかぎその他閉鎖のための設備、器具		有 ・ 無	
	貯 蔵 室	室の構造		
		特定防火設備防火戸		有 ・ 無
	貯 蔵 箱	箱の構造		
	貯 蔵 容 器	貯蔵時の1メートルの距離における実効線量		マイクロ シーベルト/時
		標識及び種類・数量の表示		有 ・ 無
		空気を汚染するおそれのある状態にある診療用放射性同位元素等を入れる容器は、気密な構造か。		適 ・ 否
液体状の診療用放射性同位元素等を入れる容器は、こぼれにくい構造で浸透しにくい材料か。		適 ・ 否		
受皿、吸収材その他放射性同位元素による汚染のひろがり防止するための設備又は器具を設けているか。		有 ・ 無		
運 搬 容 器	貯蔵時の1メートルの距離における実効線量		マイクロ シーベルト/時	
	標識及び種類・数量の表示		有 ・ 無	
	空気を汚染するおそれのある状態にある診療用放射性同位元素等を入れる容器は、気密な構造か。		適 ・ 否	
	液体状の診療用放射性同位元素等を入れる容器は、こぼれにくい構造で浸透しにくい材料か。		適 ・ 否	

8 廃棄施設

医療用放射性汚染物の状態		液体状・気体状・その他
排水設備	排水口における排水中の放射性同位元素の濃度を濃度限度以下とする能力又は排水監視設備を設けて排水中の放射性同位元素の濃度を監視することにより、病院又は診療所の境界における排水中の放射性同位元素の濃度を濃度限度以下とする能力を有しているか。	適 ・ 否
	排液のもれにくい構造とし、排液が浸透しにくく腐食しにくい材料であるか。	適 ・ 否
	排液処理槽は、排液を採取し、又は放射性同位元素の濃度が測定することができる構造であるか。	適 ・ 否
	排液流出調整装置	有 ・ 無
	排液処理槽の上部の開口部はふたのできる構造又は立入防止施設であるか。	
排気設備	排気口における排気中の放射性同位元素の濃度を濃度限度以下とする能力又は排気監視設備を設けて排気中の放射性同位元素の濃度を監視することにより、病院若しくは診療所の境界の外の空気中の放射性同位元素の濃度を濃度限度以下とする能力を有しているか。	適 ・ 否
	人が常時立ち入る場所における空気中の放射性同位元素の濃度を濃度限度以下とする能力を有しているか。	適 ・ 否
	気体の漏れにくい構造とし、腐食しにくい材料であるか。	適 ・ 否
	故障発生時の汚染拡大防止装置	有 ・ 無
焼却炉	気体が漏れにくく、灰が飛散しにくい構造であるか。	適 ・ 否
	排気設備に連結された構造であるか。	適 ・ 否
	焼却残さの排出口と廃棄作業室の連結	有 ・ 無
廃棄作業室	放射性同位元素によつて汚染されるおそれのある部分は、突起物、くぼみ及び仕上材の目地等のすきまの少ない構造であるか。	適 ・ 否
	放射性同位元素によつて汚染されるおそれのある部分の表面は、平滑であり、気体又は液体が浸透しにくく腐食しにくい材料か。	適 ・ 否
	フード、グローブボックス等の装置と排気設備の連結	有 ・ 無
	標識	有 ・ 無

汚染検査室	放射性同位元素によつて汚染されるおそれのある部分は、突起物、くぼみ及び仕上材の目地等のすきまの少ない構造であるか。		適 ・ 否
	放射性同位元素によつて汚染されるおそれのある部分の表面は、平滑であり、気体又は液体が浸透しにくく腐食しにくい材料か。		適 ・ 否
	洗浄設備		有 ・ 無
	更衣設備		有 ・ 無
	放射線測定器		有 ・ 無
	汚染の除去に必要な器材		有 ・ 無
	洗浄設備の排水管と排水整備の連結		有 ・ 無
	標識		有 ・ 無
保管廃棄設備	外部と区画された構造であるか。		適 ・ 否
	扉、ふた等外部に通ずる部分のかぎその他閉鎖のための設備又は器具		有 ・ 無
	保管廃棄容器	耐火性であるか。	適 ・ 否
		空気を汚染するおそれのある状態にある診療用放射性同位元素等を入れる容器は、気密な構造か。	適 ・ 否
		液体状の診療用放射性同位元素等を入れる容器は、こぼれにくい構造で浸透しにくい材料か。	適 ・ 否
		標識	有 ・ 無
陽電子断層撮影診療用放射性同位元素又は陽電子断層撮影診療用放射性同位元素によつて汚染された物を保管廃棄する場合には、当該汚染された物以外の物が混入し、又は付着しないように封及び表示をしているか。		適 ・ 否	

9 放射線治療病室

病室番号	面積	室の防護（鉛当量）			出入口の付近			
		天井	床	周囲の画壁	放射線測定器の有無	汚染の除去に必要な器材	洗浄設備の有無	更衣設備の有無
	m ²	mm	mm	mm				
放射性同位元素によって汚染されるおそれのある部分は、突起物、くぼみ及び仕上材の目地等のすきまの少ないものか。							適 ・ 否	
放射性同位元素によって汚染されるおそれのある部分の表面は平滑であり、気体又は液体が浸透しにくく腐食しにくい材料か。							適 ・ 否	
特別措置病室に関する措置	出入口の付近に人がみだりに立ち入らないようにするための注意事項の掲示があるか。						適 ・ 否	
	内部の壁、床その他放射性同位元素によって汚染されるおそれのある部分の表面を、放射性同位元素による汚染を除去しやすいもので覆っているか。						適 ・ 否	
	出入口の付近に放射性同位元素による汚染の検査に必要な放射線測定器、放射性同位元素による汚染の除去に必要な器材及び作業衣を備えているか。						適 ・ 否	
その他防護設備の概要								

10 診療用放射性同位元素等を使用する医師又は歯科医師の氏名及び放射線診療に関する経歴

氏名	職種	放射線診療に関する経歴 免許登録年月日及び免許番号

添付書類

- 1 診療用放射性同位元素使用室、陽電子断層撮影診療用放射性同位元素使用室、放射線治療病室、貯蔵施設及び廃棄施設の平面図及び側面図（線源から天井、床及び周囲の画壁の外側までの距離、排水及び排気の系統、管理区域、標識等を明示すること。）
- 2 使用室、治療病室、貯蔵設備及び廃棄施設画壁外側の漏えい放射線測定結果報告書の写し又は遮蔽計算書
- 3 診療用放射性同位元素等を使用する者の免許証の写し